

第72号

編集発行 三重短期大学同窓会
会長 中村 隆義
〒514-0112 津市野田157
三重短期大学事務局内
TEL 059-231-7770

印刷所 株式会社 伊勢出版
TEL 059-225-8212



三重短期大学 学歌
(一)三津の都 安濃津はさやかに
みはるかす山をひかえて
悠遠の文化を競う
いざわれら 千載の学統たかく
ともに築かん はえある大学
理想の学園を

学生と時間を共有
カリキュラムの充実を目指し
新学科設置と新制度「長期履修制度」を

今年度から東福寺一郎前学
長の後任として学長に就任い
たしました。これまでの四年
間は学生部長として、キャリ
ア支援や学務、学生自治会や
クラブ・サークル活動支援に
関わってきました。今年度か
らは学長として大学運営に携
わることになりましたが、学
生との接点をできる限り維持
したく、昼間部一コマ、夜間
部二コマ、授業を担当し、週
一回のオフィスアワーでは、
可能な限り研究室に在室し、
学生と時間を共有するよう努
めています。

今年度から東福寺一郎前学
長の後任として学長に就任い
たしました。これまでの四年
間は学生部長として、キャリ
ア支援や学務、学生自治会や
クラブ・サークル活動支援に
関わってきました。今年度か
らは学長として大学運営に携
わることになりましたが、学
生との接点をできる限り維持
したく、昼間部一コマ、夜間
部二コマ、授業を担当し、週
一回のオフィスアワーでは、
可能な限り研究室に在室し、
学生と時間を共有するよう努
めています。

開学から六十八年目を迎え
る本学の一層の充実を目指
して、令和三年度から法経
科、生活科学科に加え、食物
栄養学科を設置予定です。ま
た法経科第二部では、勤務や
介護、育児等のために通学時
間が限られる方、ゆっくり自
分のペースで学びたい方を対
象に、長期履修制度を開始す
る予定です。これは通常二年
間で卒業する課程を、三年ま
たは四年をかけて卒業するこ
とを目指しています。

とを目指す制度で、卒業まで
に要する学費は、通常の履修
制度と同じです。現在学内で
新学科設置と新制度開始に向
け、準備をすすめていること
です。各学科では新しい講
義科目の設置等、カリキュラ
ムの一層の充実を目指して検
討を重ねています。
こうした学びの充実には、
学びの「場」の充実が欠かせ
ません。昭和四十三年に建て
られた現在の校舎棟は五十年
以上が経過しています。今年
度は校舎棟トイレと体育館の
改修工事が行われ、学生のた
めの環境改善は少しずつ実施
されていますが、老朽化が目
立ちます。カリキュラ
ムを充実させ、学生一
人一人を丁寧に育てて
地域に還元する教育の
充実には、ゼミ室や大
小様々な教室の整備が
不可欠です。本学の今
後のあり方の検討と並



行して、施設整備のあり方の
検討が必要と考えています。
学長に就任後、学外の会合
に出席する機会が増えまし
た。出前講座を担当する機会
もありました。その際、「三
重短で学んでいました」と、
多くの卒業生に声をかけてい
ただき、在学当時の貴重なお
話や、本学の今後の在り方に
ついてのご意見をうかがいま
す。本学の卒業生は二万名を
超えました。同窓生の皆様の
声を受け止めながら、大学運
営に邁進してまいります。今
後も本学の学生に温かいご支
援を賜りますようお願い申し
上げます。

新たな人生の幕開け
同窓会に格別の思い
義母は家政科一期生

同窓会顧問(前学長) 東福寺 一郎

昨年三月に定年退職を迎え
てから早くも一年が経とうと
している。退職とともに同窓
会とも縁遠くなるものと思っ
ていたが、図らずも、昨年六
月に開催された総代会におい
て、顧問に選ばれ、同窓会と
はこれからは深い縁が続く
こととなった。五年前に他界
した義母が、生活科学科の教
員であるとともに家政科の一
期生であったことも手伝わ
て、私自身、同窓会には格別
の思いがある。二十七年間
培った経験を同窓会活動に少
しでも役立てることができ
ば本望である。

さて、宮仕えから解放され
た当初は、平日に自宅にいな
ことへの罪悪感と少々の至福
感が錯綜していたが、徐々に
それが日常へと変わり始め
た。自宅と短大は歩いて五分
もかからない距離なので、短
大の前を通る機会が多いが、
今は「関係者以外立ち入り禁
止」の立札を当事者の心持ち
で眺めている。退職前には、
退職したらあれもやろう、こ
れもやろうと考えていたの
に、実現しているものはまだ
少ない。例えば、母から「そ
ば打ち」を教えてもらうこと
になっており、実家に帰る機



く、やりがいがある。これだ
けのことを、これまで妻は一
人でこなしていたことに頭が
下がる思いである。また、退
職記念に夫婦でどこかへ行き
たいという願いは、昨年九月
にドイツとオーストリアを巡
る形で実現した。記念旅行な
ので、今後はしばらく行かな
いつもりでいたが、海外旅行
とはあまり縁がなかった老夫
婦は、この歳になって海外へ
行く面白さに目覚めてしまっ
た。財布と相談しながら、こ
れから
も機会
を作り
たいと
思う昨
今であ
る。

令和二年 第一回役員会開く
学生自治会役員四名が参加
事業活動について意見を聞く

三重短期大学同窓会は、令和二年一月二十五日、津市のアス
ト津で新年初の役員会を開いた。役員会には、大学一部、二部
の自治会役員四名が参加した。

会議は、事業活動の推進と反省、新年度の事業計画などにつ
いて話し合った。また、同窓会事業の一つ学生への支援事業で
は、食物栄養学専攻(六十七期生代表村井聖奈)から要請のあつ
たシューズボックス購入助成(五万七千円)を承認した。
当日出席した四人の学生の中の一人、二部自治会長若原慈納
さんから後日、「令和二年第一回役員会に参加して」の文をい
ただきましたので掲載します。(以下、原文のまま)

令和二年度三重短期大学同
窓会の第一回役員会に参加し
ました。

会議では、令和元年度の事
業活動についての振り返り、
新年度事業推進に当たって取
り組む事業計画、学生自治会
から同窓会活動への要望など
の話合いが行われました。
意見交換をするに当たって、
学生ではない目線からの意見
を取り入れる事ができ、とて
も新鮮でした。さらに、要望
を積極的に受け入れようとす
る先輩方の姿勢を見て、この
方達によって三重短期大学は
支えられているのだと実感し
ました。このように
支えていただいでい
る身であるという自
覚を持って、活動し
ていかなければいけ
ないと気が引き締め
まりました。そして、
先輩方の姿勢を見
習って、自治会長と
いう立場である私は
三重短期大学のため
に要望を積極的に伝
えていこうと思いま
した。



令和2年第一回役員会に出席したメンバーたち

クラス会の助成について

クラス会や同窓会の開催に対して、1人1,000円の助成
をしています。同窓会名、代表者名、開催日、時、場所、
出席者名簿、振込銀行名を添えて申請して下さい。

申請その他の
問い合わせは

中井 晴美まで
(同窓会会計担当)

059(292)3022
三重県津市香良洲町 5708

申請書はホームページに有りますのでご利用下さい。

三重短期大学同窓会 検索

の課題も話題に挙がりまし
た。学祭委員会での準備や計
画などを始めた時期が遅れた
ために、集客するための準備
もできておらず、十分に人が
来なかった事が反省点でし
た。来年の学祭では、早くか
ら計画を立て、集客の方法や
行うイベントの見直しにも力
を入れて活動していきたいと
思っています。
今回、同窓会役員会に参加
して、三重短期大学に関する
議論をしたことで、さらに在
校生や新入生が過ごしやすい
学校にしていきたいと思いま
す。そのために、これからも
自治会での活動に合わせ、
同窓会活動に積極的に参加し
ていこうと思います。
(二部自治会長 若原 慈納)

